

ステップアップ事業自己評価シート

団体名 特定非営利活動法人 彩の風

項目	評価	評点
1	<p>目的の達成度</p> <p>今般の事業目的は「障害者等身体および精神的ハンデを負った方が積極的に安心して外出してもらうことにより、強い精神力を持ち自身のライフスタイルを確立する。」援助になってもらうことである。そのために当方が調査した内容（駅、各種施設のバリアフリーや多機能トイレの設置状況等）は今後十分役立ってもらえると考え。特にマップ形式で写真を掲載し分かりやすいものにできていることを強調したい。但し誌面スペースの都合もあったが、調査対象をもう少し広げなかったのも事実である。</p>	4点
2	<p>地域への貢献度</p> <p>さいたま市内に限定した情報誌であり、市民の社会福祉に対する認識を高められると期待する。例えば「障害者等が外出した時に抱える不安は何なのか？多機能トイレが増えてきているが、その機能性とは何なのか？」を知ってもらうことにより、これまで同情だけしかできなかった方々が、普通に当然に積極的にサポートできるような地域社会および共生社会の構築に貢献できるものと考え。</p>	4点
3	<p>事業の継続性</p> <p>先にも述べたが、調査対象は無限大にあると考えている。従ってさいたま市内の調査は今後約1年継続し、同時に情報誌を通し様々な情報提供を受け、ネットワーク作りを行いたい。そして情報内容は当方ホームページにて発信していく。並行して他市町村についても調査エリアを徐々に広げ、約3年後には埼玉県全域をカバーできる冊子形式の情報誌発刊を目指す。</p>	5点
4	<p>費用対効果</p> <p>有効に活用でき、今般の事業実施には欠かせないものとなった。例えば各種調査に当たり、県の助成事業であることによりその公益性から信用されたケースが多々あった。</p>	5点
5	<p>総合評価</p> <p>当方の基本理念である「障害者や要介護にある高齢者が積極的に外出し自立していくための安心で安全な街づくり」の一環として価値のある事業を遂行できたと考え。情報誌は現状配布中であるが、前例のないものに関心を示す方々が多い。今後広く情報誌が行渡りその内容から社会福祉の根本的概念である「万人の幸福」のため、これまで以上に障害者等への意識を持ってもらえると期待する。</p> <p>最後に反省すべきこととして初期段階での実地調査が長引き、本調査期間が短縮されてしまったことである。より有益な情報の掲載ができなかったことも認めざるを得ない。事実調査終了間際になり調査対象が増えてきたのを実感した。</p>	4点